

準備しておこう！ 非常持ち出し袋

最低3日間の備蓄を！

●非常持ち出し袋の中身、家庭での備蓄品の例

貴重品 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳や有価証券の写し <input type="checkbox"/> 健康保険証の写し・認め印	衣料 <input type="checkbox"/> 下着(家族分) <input type="checkbox"/> 衣類(長袖のもの) <input type="checkbox"/> 雨具・タオル	家族構成や季節などによって必要物品は異なります。家族で話し合っておきましょう。
食料品 <input type="checkbox"/> 飲料水(一人1日3ℓ必要) <input type="checkbox"/> 乾パンやクラッカー <input type="checkbox"/> レトルト食品・缶詰(缶切り・ナイフ) <input type="checkbox"/> 粉ミルク・ほ乳ビン <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水用ポリタンク	医療用品 <input type="checkbox"/> 三角巾・包帯・ガーゼ <input type="checkbox"/> 消毒薬・ティッシュ <input type="checkbox"/> 紙おむつ・生理用品 <input type="checkbox"/> 常用薬 <input type="checkbox"/> 救急キット	
防災用品 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input checked="" type="checkbox"/> ヘルメット・バール <input checked="" type="checkbox"/> ロープ・ノコギリ	燃料・照明器具ほか <input type="checkbox"/> マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> ろうそく <input type="checkbox"/> 予備のめがね・補聴器・入れ歯など <input checked="" type="checkbox"/> ビニールシート <input checked="" type="checkbox"/> 寝袋・毛布	

※は、袋に入れない備蓄品

地震対策

地震はもちろん、さまざまな災害に関連する家庭での対策をまとめました。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

家族で開こう！ 防災会議

いざというときあわてず行動できるように、家族みんなで災害対策を話し合っておきましょう。

●チェックリスト

- 家中の危険箇所は？
- 非常持ち出し袋や備蓄品は何が必要？
- 非常持ち出し袋や貴重品はどこにある？
- 誰が持ち出す？
- 避難場所は？避難経路は？
- 家族間の連絡方法は？最終的に落ち合う場所は？
- 火の始末は誰がする？逃げ道は誰が確保する？
- 家族での防災チェックを定期的に行う日を定めておきましょう。

確認しておこう！ 災害時の情報入手方法

●**広報車・サイレン** 避難勧告などの発令時、該当する区域を広報車が巡回してお伝えします。また、小学校などに設置したサイレンが「約1分間鳴る⇒5秒休止」を繰り返します。ただし、避難勧告などの発令がなくても、危険だと感じた場合は、自らの判断で避難してください。

●**FMなばり(83.5MHz)** 避難勧告などの情報を提供します。

●**防災ほっとメール** 避難や災害の情報を携帯電話に電子メールでお届けします。避難所などもご確認いただけます。

<http://www.anshin-bousai.net/nabari/> に接続すると登録できます。
(右記QRコードでも接続できます)

※3月から携帯電話会社(ドコモ・ソフトバンク・au)のサービスで災害避難情報が自動的にメール配信されます(事前登録は不要ですが、対応機種である必要があります)。

地震発生時のキーワード！ 3秒・3分・3時間・3日

- 【地震だ！】地震発生3秒前後
 - ・落ち着く ・身を隠す
- 【揺れがおさまったら…】地震発生3分前後
 - ・火元の確認 ・家族は大丈夫？
 - ・ラジオをつける ・靴を履く ・徒歩で避難
- 【みんな無事か？】地震発生3時間前後
 - ・余震に注意 ・漏電、ガス漏れに注意
 - ・ブロック塀やガレキに近づかない
 - ・隣近所で助け合おう
- 【救出・救援活動が本格化】地震発生3日前後
 - ・水、食料は備蓄でまかなう ・正確な災害情報を入手
 - ・親せき、知人に安否を連絡 ・家を離れるときはメモを貼る
 - ・譲り合いの心を持とう ・無理はやめよう

夏季の生ごみ資源化試行事業 アンケート結果 生ごみ資源化収集の実施時期・内容を引き続き検討します

●**夏季の生ごみ資源化試行事業を実施**

市では、生ごみの資源化に向けた取組みを進めています。昨年の夏季(7月から約2ヵ月間)には、生ごみ資源化試行事業をモデル地区で実施しました。これは、第1次の試行事業(平成22年10月~12月)に引き続き実施したもので、生ごみのニオイ対策やごみの収集回数に焦点を絞り、5地区1,054世帯の皆さんに、生ごみの分別収集やアンケートにご協力いただきました。

●**新たなニオイ対策を試行**

生ごみ分別収集の課題の一つはニオイ対策です。水切りを徹底することがニオイ対策につながるため、第1次試行事業では、フタ付き水切りバケツを配布。昨年夏季の試行では、

三角コーナーや木質チップを配布し、生ごみを新聞紙や水切りネット、小袋に包んだまま専用袋に投入できるものとなりました。さらに、ステーションでのニオイ対策として、生ごみ収集専用のフタ付大型バケツを設置しました。

収集日は、現行の「燃やすごみ」の週2回収集のうち、1回を生ごみ専用としました。

●**アンケート結果の概略**

生ごみを分別して普段以上に生ごみのニオイが気になったかを聞くと、81.3%が「気になる」と回答(生ごみ分別のない普段の「燃やすごみ」のニオイについては、73.6%が「気になる」と回答)。ニオイ対策の効果については、「効果があった」「少し効果があった」という

回答が合わせて81.2%となりました。

また、「燃やすごみ」の週1回収集は「少し不都合と感じた」「大変不都合と感じた」という回答が合わせて69.4%にのぼりました。

●**実施時期や実施内容を引き続き検討**

市では、試行事業でいただいたご意見やアンケート結果を踏まえながら、平成24年度中に策定予定の第4次「ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」(平成25年度~27年度)の中の主要検討項目の一つに位置づけ、実施時期(平成25年度以降)や実施内容を検討していきます。

◎アンケート結果は、市ホームページに掲載しています。

☎ 環境対策室 ☎ 63-7496

★避難勧告などの発令時に鳴るサイレンの設置場所…名張小学校、蔵持小学校、薦原小学校、新田ポンプ庫、下比奈知ポンプ庫、滝之原ポンプ庫、安部田ポンプ庫、赤目ポンプ庫、箕曲公民館、国津園デイサービスセンター、長瀬公民館、消防本部、桔梗が丘分署、つじが丘出張所